



SHOU-TO

～勇気ある決断～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 竹ノ内賢一郎
◆編集責任者/担当 副会長 上田康文 ◆制作・編集 第42期広報委員会/委員長 石原 効

次年度理事・監事・県出向候補 決定

【理事】



永井 拓末 会員 平成23年3月入会 株式会社 クラム 営業部長 平成26年度 副委員長	木嶋 康之 会員 平成23年7月入会 株式会社 D・I・P 平成25年度 副委員長/ 平成27年度 県出向理事	橋本 真和 会員 平成26年5月入会 美保テクノス(株) 基礎技術 事業所長	堀尾 一仁 会員 平成26年11月入会 株式会社 堀尾建築設計事務所 専務取締役 平成28年度 副委員長	西田 裕志 会員 平成27年3月入会 山陰酸素工業(株) 技術本部 設備工事部 供給技術グループ メディカルチーム課長 平成28年度 副委員長
--	--	--	--	---

【会員拡大担当理事】



山内 正樹 会員
平成26年7月入会
(有)サンユービルド 専務取締役
平成27年度 副委員長/平成28年
度 会員拡大プロジェクトリーダー

【監事】



濱田 修 会員 平成17年3月入会 株式会社 ホクシン 代表取締役社長 平成22年度 副委員長/平成 24年度 委員長/平成26年度 /副会長/平成28年度 副会長	廣谷 栄一 会員 平成20年5月入会 司法書士 廣谷栄一事務所 所長 平成23年度 副委員長/平成25年度 県 出向理事/平成26年度 委員長/平成 27年度 副会長/平成28年度 副会長	浜田 貴稔 会員 平成26年1月入会 (有)こめや産業 専務取締役 平成27年度 委員長/平成 28年度 副会長
--	--	---

【県出向理事候補】



高井 賢一 会員 平成17年6月入会 (有)松友 統括マネージャー 平成26年度 副委員長/平成 28年度 委員長	権田 和志 会員 平成24年3月入会 株式会社 味屋コーポレーション 営業部長 平成26年度 副委員長/平成 27年度 委員長	村田 博 会員 平成25年7月入会 村田家(株) 代表取締役 平成27年度 県出向理事/平 成28年度 委員長
--	--	--

【県出向監事候補】



上田 康文 会員
平成19年12月入会
うえだイベント(株) 代表取締役
平成21年度 副委員長/平成24年度 委員長/平成25年度
県出向理事/平成26年度 県出向理事/平成28年度 副会長

伝統文化の継承を知ることによって企業存続を模索する4月例会開催

～日南町で存続する伝統文化の承継事例から学ぶ～

「戦略」



平成29年4月17日、ヴィレステひえぶにて4月例会が開催された。冒頭、竹ノ内会長より富士フィルムの企業再生の話があった。デジタルカメラ普及に伴い写真フィルム需要は激減したが、フィルムの光学技術を転用し、液晶材料や医療事業などに経営をシフトすることで見事にV字回復を遂げた。主力だった写真フィルム事業は、今や全体売上の3%にしか過ぎない。本業がいきなり無くなってしまふことの恐ろしさ、時代に応じた多角化戦略や戦いぬくことの重要性について語られた。

の話などプライベートな部分に触れる話があった。特にスポーツ少年団に関わることで子供の成長を目の当たりに出来る素晴らしさを語られた。引き続いて、第37回全日本トリアスロン皆生大会に向けて実行委員長や各部部長の任命式が行われ、各部長からの意気込みを頂いた。

の話を聞いた。特にスポーツ少年団に関わることで子供の成長を目の当たりに出来る素晴らしさを語られた。引き続いて、第37回全日本トリアスロン皆生大会に向けて実行委員長や各部部長の任命式が行われ、各部長からの意気込みを頂いた。



「未来につなげ 伝統文化」

例会第1部では、日南神楽神光社による演目「大蛇退治(神能八重垣)」が披露された。生で間近で見る神楽は大変迫力があ



り、地元の伝統芸能をしっかりと堪能した。例会第2部では「伝統文化の保護と継承～企業存続への糸口に繋ぐ～」というテーマでパネルディスカッションが行われた。パネリストは、大柄重人氏(日南文化伝承の会 会長)、小竹等氏(日南文化伝承の会 事務局長)、福島怜氏(日南神楽神光社 代表)の3名で、コーディネーターとして匠委員会の今川会員と小谷会員が進行を務めた。

パネルディスカッションの中でパネリストから「伝統文化は地域の絆を深めることが出来る」、「(人口が減っていく中で)伝統文化を継承していくには強いリーダーシップが必要である」、「一度途絶えた伝統文化が再起を図るのは難しい」という貴重なご意見を頂いた。

最後に匠委員会担当の浜田副会長より、我々は経済人として地元の伝統芸能とどう関わっていけるのか、また伝統文化の継承から事業承継の糸口を見出すことが出来たと締めくくった。(記事:松井)

「第43期理事・監事・県出向候補決定!」「第37回全日本トリアスロン皆生大会始動!」

会長挨拶の後、臨時総会が開催され、次年度理事、監事、県出向理事候補、県出向監事候補が満場一致で承認された。この臨時総会をもって43期役員は全て決定され、次年度に向けた準備は着々と進められている。続いて高塚委員長による委員長タイムでは、野球を中心とした自身の経歴や家族

4月例会を終えて



まずは、年度代わりのご多忙の中、ご参加頂きました会員の皆様、感謝申し上げます!そして、委員会メンバーで創り上げる例会、こんなにワクワク・ドキドキする体験はとても久しぶりの感じがしました!いや～・・・、伝統芸能の神楽・・・。あんなに崇高な感覚になるとは!そして、今現在、伝統文化・芸能の保護と継承に勇猛果敢に取り組んでおられる方々のお話・・・。皆様、伝統文化・芸能の保護と継承と企業存続の結びつき、ヒントになりましたでしょうか?私の人生の中でこれほど地域の伝統に興味をもって行動したのは初めてでして、この機会を与えて下さいました、竹ノ内会長には感謝申し上げます!!我々が所属する、西部青年中央会も会員企業の下支えなくして存続は厳しいと思います。伝統芸能も企業も変化を遂げ、存続し続けて参りましょう!!最後に、与えて頂いたテーマのもと、二回目の例会も無事に終える事ができたのも、ひとえに委員会メンバーのおかげです!ありがとうございました!!!

さあ、次はお地蔵さまフェスティバル!オール中央会でやりきりましょう!!

匠委員会 委員長 村田 博
(村田家株式会社 代表取締役)

第2回お地蔵さまフェスティバル開催!

積善委員会 委員長 高井 賢一
(南松友 統括マネージャー)

いよいよ5月14日(日)に迫ってまいりました、第2回大山お地蔵さまフェスティバル!“大山とお地蔵さまを通して、子供たちの心の成長に関わり『ふるさと』の原風景を残す”のミッションのもと、大山寺参道のお地蔵さまを巡りながら清掃を行い、地元園児たちによる絵画の作品展、参道の坂道を利用した流しそば、お地蔵さまの名前入りの石碑寄贈、そしてフィナーレには新年例会にもお越しいただいた「き乃はち」さんによる「き乃はちLIVE 2017 MITAMA～御魂～」と盛り沢山のイベントを用意しております。

鳥取県西部地域の次世代を担う子供たちにとって、魅力を知ってもらえる機会となれるよう精一杯運営して参ります。皆様のご参加お待ちしております!

第2回お地蔵さまフェスティバル 当日スケジュール

- 10:10 お地蔵さま清掃(9:20受付開始)
- 10:30 お地蔵さま絵画コンクール表彰式
- 12:00 流しそば50m
- 15:15 「き乃はちLIVE」(14:20開場)
- 13:00 お地蔵さま紙芝居



OB訪問 有限会社アクティス・プロ

小林慎一OB (第28期ご卒会) を訪ねて



今月は一昨年(2021年)のハンサム316号で息子も紙面デビューされた、各種イベントのトータルサポート(有)アクティス・プロの小林慎一OBを訪ねました。

◎中央会で得られた多くの『引き出し』

イベントとプレゼンのプロである小林OBの仕事に欠かせない経験則と言葉の『引き出し』には、中央会時代の異業種交流と各種事業への試行錯誤から得たモノが詰まっています。『副会長就任時は人前で喋れるよう言葉の『引き出し』を増やす為に、それまでの人生で一番新聞を読んだ。仕事だけではなく家庭内でも使える起承転結のあるプレゼン力=交渉力を鍛える絶好の場であった』(現役からOBまで幅広い

交流し、時には失敗して先輩に叱られながらも築き上げた人脉と情報網は大きく、今の事業にも大いに活かしている)そして更なる成長を求め、昨年にロータリークラブへ入会されたそうです。

◎もっとOBに頼っていい
昨今のOB交流会からは「接待感」が拭えず、「本当のOB交流とは何なのかを改めて問う」と小林OBは仰います。解決の一例として、繋がり強い新OBと現役が協力してコーディネートし、OB会員と新入会員とがお互いの求めているモノを照会し合える場(中央会ネットワーク)の構築を挙げられました。「経験・ノウハウの集積であるOB×若さ・可能性の塊である新入会員とのマッチングがつまらない訳がない。他団体との差別化を図る上でOBと現役とのつながりを活かす体制こそ最大の武器になる筈。」「OBは後輩から頼りにされると断れないものだよ」といつもの笑顔で仰っておられました。

◎もっとOBに頼っていい

お忙しい中ご協力賜りまして誠にありがとうございました。
(記事:長谷川T)

中央会 Q & A

ハンサム316号に登場した小林OBの息子さんの名前は？
～答えはHPにて～

企業紹介 ～翔け新入会員～

株式会社平設計 安達信彦



平成29年2月に入会致しました株式会社平設計の安達信彦と申します。

弊社は米子市東町、米子市役所の近くに事務所があります。創業は昭和55年、今年で37年目を迎えます。

業務内容は、公共・民間を問わず建築の設計・監理を行っております。建物用途も、住宅・集合住宅に限らず、事務所・店舗・工場から福祉施設など多岐

にわたります。また、県産木材を有効利用する為、大規模空間での木造架構を実現する様々な技術導入を行っております。

地元の材料を多く取り入れ、『地産・地消』に寄与できる建築物を考え、品質監理に重点を置いています。

気候・風土・環境、その地域に根ざした建築文化の構築を企業理念とし、人と自然の調和を考え、豊かな感性と多彩な技術力で「集う」「安らぐ」「活々とした」建物を設計し続けています。

昨年は、倉吉市を中心に県中部で大規模地震が発生しましたが、耐震診断・耐震補強・改修にも力を入れ、既存建物の有効活用に取り組んでおります。建築物の『ライフサイクルコスト』を考慮し、日々研鑽と高い職能・倫理をもって設計・監理に取り組んでいきます。



株式会社平設計 URL

One's 古木竜平



当店は、平成29年1月1日にオープンしたばかりの新しいお店で、鳥取県初進出のTAXという自動車販売のフランチャイズ店をやっております。

自動車販売に関しては、新車、中古車、全車種、全メーカーを取り扱っておりますので、同グループ内の豊富な在庫の中からお客様にあった1台をご提案することができます。

販売だけでなく、钣金塗装、保険、パーツ取付販売など車に関することは全て自社で行うことができますので購入後も安心してカーライフを送っていただけます。

自動車販売会社はたくさんありますが、専門店化するのではなく一つの店舗で全てが揃うショッピングモールのようなお店作りをして競合他社との差別化を図るとともに、スタッフ皆が明るくアットホームなお店ですので、お気軽にお立ち寄りください。

また販売車全てに保証をつけ、お客様に安心してカーライフを送っていただけるのも当店の特徴の一つです。

まだまだ駆け出しではありますが、車を通して地域の皆様に貢献することをモットーに日々頑張っておりますので皆様宜しくお願ひ致します。



One's URL

後輩へ

後藤 太良

(ティーイーアイ(株) 代表取締役)

いや～ 長かった。とりあえず「ごとうたいら お疲れさん！」と言ってやりたいです。

16年ちょっとお世話になりました。本当にたくさんの方と出会い、たくさんのお金を使い、たくさんのお酒を飲みました。

そんな私も、入会当初は参加するのが嫌で嫌で… どうやって欠席してやろうか？そんなことを考える日々でした。(結局参加しましたが…)

でも面白いものですね。段々、委員会、例会に行く時間が早くなっていったのです。この会の魅力に、また会員の魅力に染まっていった自分がいました。みんなに会いたくなっていったのです。

15年も経てば様々な苦境がありました。家族、仕事、そしてこの会にも… でも助言、励まし、支えを頂いたのはこの会の先輩、後輩でした。マジで向き合い時間無制限で付き合ってもらえたことで乗り越えられました。(詳しく書けません)

「後輩へ」偉そうに言えませんが、何をしに、何を求め、何の為に、この会に入会されたのでしょうか？たぶん、今ははっきりとした答えは見つからないと思います。

この地域で何が必要か、何が問題か、しっかり議論をし、活動して欲しいです。おのずと答えがみつかる様な？そうだろうか？ようわからん！ようはやればいいのじゃ！

「いったれ」これだ！



翔人になるために ～ de Japón ～

第42期会長 竹ノ内賢一郎

42期も残すところ2ヶ月となりました。このハンサムが皆さんの手元に届くのは第2回大山お地蔵さまフェスティバルの前日くらいでしょうか！

私の好きな言葉に「人事尽くして天命を待つ」という言葉があります。ここまで各委員会の事業も事前の段取りをやり尽くしてきたからこそ、無事に今日を迎えられているのではないのでしょうか。

大丈夫！必ず晴れます！

OB交流会

見事土井OB会長リベンジ成功！！

平成29年4月12日(水) 皆生の東光園でOB交流会が開催された。

アトラクションの1つに利き酒があり、見事土井OB会長が去年のリベンジに成功し全問正解された。

会の冒頭で竹ノ内会長と土井OB会長の話があり、笑いを取りながら会場を盛り上げ交流会が始まった。

歓談後、6名の委員長から、それぞれの委員会のテーマなど熱い思いをOB会員、現役会員に発表した。

続いてアトラクションがあり、テーブルごとでチームに分かれ豪華景品をかけた得点を競い合った。優勝はAチームだった。



会長から紹介を受けた三輪次年度会長が次年度への意気込みを話し、OBの方々から応援を受けた。

最後に門脇OB副会長が一本締めで締められ閉会した。

(記事:新井)



とも まつ 浩 一 A型

三井生命保険㈱ 営業部長

生命保険業および損害保険業 各種取り扱い

〒683-0802 米子市東福原1-1-22 米子ウエストビル1F

TEL 34-2518 FAX 23-0484

(KT) 090-5904-1104

(EM) koichi8709@gmail.com

S 51.12生

〈コメント〉簡単に自己紹介申し上げます。

私、大阪生まれの大阪育ちです。(話にオチはありません)

好きな食べ物は好み焼きとカルボナーラです。

趣味はテニスとゴルフと料理にドライブ。

休みの日は掃除洗濯→ゴルフの練習→温泉→スーパー→帰宅

ここで知り合った仲間とともに自己研鑽、切磋琢磨し、さらなる自己成長に努め、皆様のご期待に添えるよう、さらなる努力をしていく所存です。



あお と かず のり A型

㈱WAZM 代表取締役

広告代理業

〒683-0815 米子市東倉吉町133 田中産産ビル2F

TEL 21-5106 FAX 21-5107

(KT) 090-3636-4038

(EM) wazm-joy@road.ocn.ne.jp

S 55.07生

〈コメント〉この度、入会させて頂きました株式会社WAZMの青戸和功と申します。諸先輩方にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



勇気ある決断

監事 山崎 慎也

決断にも、勇気ある決断と苦渋の決断というものがあると思います。苦渋の決断とは限られた選択肢の中から、その中でもベストな道へ選び、それでも前に進まざるを得ない、ある意味後ろ向きで望ましくない形だと思われる。しかし、勇気ある決断は、大変な中でもこれからの未来を切り開いて行くある意味前向きな決断だと思います。勇気ある決断は、常に前に進んでいる人に迫られるものだと思います！そう考えると流石、竹ノ内会長らしい今期のテーマですね。まだまだ混沌とした時代ではありますが、何事も苦渋の決断とならぬ様、常に前向きに行動し、勇気ある決断を行い、後悔する事がない様、頑張ってくださいと思います！



大山にまつわる思い出

細田 雄治 (菊山陰食材加工 商品開発・販売SL)

県外出身者の私にとっての思い出ですが、学生時代は、祖父の実家が米子にあったため、お正月に家族でスキーをするのが何よりの楽しみでした。

社会人になってからは、車でのドライブです。大山は、春夏秋冬、色々な顔を見せてくれるので、何度も行きたくなる場所です。紅葉も綺麗ですが、朝の清々しい空気や夜の大山から眺める夜景など色々な魅力のある場所だと思います。私にとっては故郷と同じ匂いを感じ、今日も大山を眺めています。

5月役員会報告

平成29年4月28日(金)米子市公会堂 集会室1にて開催されました。

当日の主な内容は下記のとおりです。

- ・4月例会報告の件
 - ・6月例会開催の件
 - ・平成28年度OB交流会の件
 - ・第2回お地蔵さまプロジェクトの件
 - ・新入会員オリエンテーションの件
- 詳細については各委員長にご確認下さい。

5月例会案内

と き：平成29年5月14日(日) 9:30~16:40

と ころ：大山寺参道周辺

内 容：第2回お地蔵さまフェスティバル

- ①大山お地蔵さまの清掃
- ②お地蔵さま作品展
- ③流しそば
- ④大山お地蔵さま巡り
- ⑤お地蔵さま名前入り石碑の寄贈

担 当：第42期 積善委員会

鳥取県西部中小企業青年中央会会員

編集後記

花粉が舞う季節ですが、いかがお過ごしでしょうか。お地蔵さまフェスティバルの準備が大詰めです。中央会全体が一丸となり、各委員会は高井実行委員長のもと清掃部、作品部、巡り部、集客企画部、広報部として活動中です。皆様もぜひ足を運びください。

(広報委員会 高田典宗)